



第2号様式 (第14条)

函館市IT活用生産性向上補助金等実績報告書

令和2年(2020年)3月18日

函館市長様

申請者 住所 函館市湯川町1丁目26番34号  
氏名または団体名 株式会社3valley  
および代表者氏名 代表取締役 三谷 あゆみ

令和2年(2020年)1月31日付け函経工をもって補助金等の交付の決定を受けた下記の補助事業等は、令和2年(2020年)3月13日に完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

1 補助事業の書類(該当する番号を○で囲むこと。)

- ① 専門家派遣型IT設備導入支援事業
- (2) IT活用共同研究支援事業

2 補助事業等の名称

ITを活用した在庫管理および現金出納業務等の省力化事業

3 補助金等交付決定通知額 金272,000円

4 補助金振込先(申請者の口座)

銀行名	支店名	口座種類	口座番号
口座名義			

5 実績書 別紙1のとおり

6 収支決算書 別紙2のとおり

## 実績書

補助事業の名称および概要
<p>補助事業の名称：I Tを活用した在庫管理および現金出納業務等の省力化事業  概要：在庫管理や現金出納などの管理業務がアナログベースであり、これらの作業に多くの時間を要している状況にあるため、I Tを活用して管理業務の省力化を図る。</p>
補助事業の実施内容
<p>店舗で使用しているレジスターが、販売履歴から在庫管理ができる機能や出納管理用のデータベース作成機能が備わっているものであったことから、レジスターにスマートフォンやタブレット等の機器を連動させ、出納管理・在庫管理を行う。</p>
補助事業の実施による生産性向上の効果
<p>管理業務をI T化させることで、手作業による人為的ミスを防ぎ、レジに連動した日計表（システムから出力）により、確実性を上げつつ、省力化が図られた。また、日々、レジに入力されるデータから、商品のトレンドを把握し、食材の無駄のない在庫管理が可能となった。</p>
補助事業完了後の事業計画（研究開発，設備投資，商品販売等）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員研修を通じて導入機器のさらなる実用化を図る。</li> <li>・省力化によって得られる時間を使い、経営する別店舗のマネジメント強化を図る。</li> </ul>
補助事業における研究機関の研究者の協力内容 （I T活用共同研究支援事業の場合）

- (注) 1. 実績書の内容について、詳細に記載すること。（別紙も可）  
2. 導入した商品の写真および概要のわかる資料ならびにその他必要と認められた書類を添付すること。

## 収支決算書

## 収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業	
自己資金	273,000	273,000	273,000	273,000	0	0	
市補助金	272,000	272,000	272,000	272,000	0	0	
合 計	545,000	545,000	545,000	545,000	0	0	

## 支出の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額		本年度決算額		増 減		内 訳
		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業		うち補助 対象事業	
レジスター管理用 ノートPC	172,600	172,600	172,600	172,600	0	0	
プリンター	31,900	31,900	31,900	31,900	0	0	
プロジェクター	168,000	168,000	168,000	168,000	0	0	
その他付属品	15,500	15,500	15,500	15,500	0	0	
初期セットア ップ作業料等	157,000	157,000	157,000	157,000	0	0	
合 計	545,000	545,000	545,000	545,000	0	0	

収支差引額 0 円

注) 1. 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。